

## パナソニック コミュニケーションズ

# 「簡単ネットワーク接続」で一気に広がる モニタリングカメラの活用シーン

普及価格の品揃えを強みにネットワークカメラの国内トップシェアを堅持してきたパナソニックコミュニケーションズ。だが現在、一部製品・技術の方向転換を含め、さらなる製品ラインアップの強化を検討中だ。その理由とポイントを同社の関係者に聞いた。

ネットワークカメラに興味や引き合いがあっても、二の足を踏むユーザーや販売代理店は少なくない。いざ実際の導入となると、ルーターのポート転送など、面倒な設定が必要となる場合があるからだ。

そこでパナソニックコミュニケーションズは、携帯電話からインターネット経由で簡単に設定できる新カメラシリーズと新サービスの投入を計画。インターネットにつながったルーター配下のカメラに対し、パソコンを一切使うことなく、外出先から容易に蓄積された画像のモニタリングができるようにするという。

新サービスは携帯電話専用とはい

え、約100枚の画像蓄積も可能にする。万一カメラ本体が壊されても、カメラの捉えた画像は外部の専用サーバーに保存されているというメリットもある。

ダイナミックDNSサービスの信頼性確保に力を入れてきた同社が「簡単接続」に方向転換することで、従来「ネットワークカメラは難しい」と感じていた販売担当者にも、大きなビジネスチャンスが広がろう。

### 広がる録画方法の選択肢

簡単設定と並ぶ課題のひとつが「録画ソリューション」の拡大だ。

例えば従来、SDカードは本体に入

れたままであり、アラーム記録の画像はもっぱらネットワーク経由で見ることになっていた。だが場所によっては「ブロードバンドが利用できないので、カメラだけで記録したい」といった要望もある。

そこでビジネスユースの新カメラでは、SDメモリーカードだけで録画プラス録音を実現していくという。パソコンを使わなくてもSDカードの入れ替えや、非ネットワーク環境下でもカメラ単体で撮影と記録ができるようになることで、郊外の自動販売機や農家のようにネットワーク接続が難しい場所にも、モニタリングカメラの利用が広がるだろう。

また、「アナログカメラ用のディスクレコーダーをそのまま使いたい」という要望もある。ネットワークカメラには興味があるが、一度にレコーダーや配線まで全部取替えるわけにはいかないといったニーズだ。このため業務用途のシリーズは、全機種アナログの映像出力端子つきにするという。

これらによって、従来からのパソコン用録画プログラムや市販のレコーダー等に加え、SDメモリーカード単体やアナログ映像信号での記録と、録画方法の選択肢がぐんと広がる。パナソニックコミュニケーションズの新製品が登場すれば、ネットワークカメラの魅力がさらに高まることになりそう。

#### お問い合わせ先

パナソニック コミュニケーションズ株式会社  
TEL 03-3491-9797  
URL <http://panasonic.biz/netsys/netwcam/>

Panasonic ネットワークカメラ(BBシリーズ)・ホームネットワークカメラ(BLシリーズ)

